GIFT いのちのぬくもり

特定非営利活動法人
骨髄バンクサポート新潟
〒943 -0805 上越市木田 2-3-11-5
Tel　090-1990-4706（斉木）
http://blog.jcan.ne.jp/nkbj/
メール　kbsniigata@gmail.com

2009. 2. 1発行　第１号

骨髄バンクドナー登録会　開催します

休日の登録会は今年度最後。ぜひこの機会をお見逃しなく！

日時：２月１１日(水)
１０：００～１６：００

会場：ジャスコ上越店とアコーレ
セントラルコート

☆ 小学生のお友達もボランティアで参加します。

《同時開催》

- ドナー登録説明員研修
- 骨髄移植 10,000 例・さい帯血移植 5,000 例ありがとうキャンペーン
- 患者、ドナーさんのメッセージ展
- 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」呼びかけ

ドナー登録できる方　○骨髄提供の内容を十分に理解している
○18 歳以上、54 歳以下で健康　○体重が男性 45kg 以上、女性 40kg 以上
※　提供できるのは 20 歳～55 歳。家族の同意が必要です。

ドナー登録説明員とは　登録会の企画、登録会開催にあたっての関係機関との連絡調整、登録会での説明・登録手続きの実施を担当し、財団法人骨髄移植推進財団が委嘱します。座学による事前研修と登録会当日の実地研修が必要です。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

会員の皆様へ　委員会に参加しませんか!!

当会事業や運営に関して、多くの人に企画運営から携わって頂いたり、様々な意見を活動に反映させていくために、右記の委員会を設けました。理事や正会員の皆様から直接事業に参画していただく仕組みです。委員会ごとに話し合い進めていきます。正会員の皆さんもご自分の得意分野で活動に参加しませんか！　お気軽にお問い合わせください。

【委員会】
企画（講演、登録会、展示会など事業の企画）
財務（事業・会員・寄付収入先の開拓）
広報（会報、HPの作成）

骨髄バンクサポート新潟　設立のご挨拶

理事長　松井友子

ここ上越での骨髄バンクのボランティア活動は、骨髄バンク設立前の 1990 年前後に始まっています。ある企業の社員の方が骨髄移植が必要になり、バスを仕立てて白血球の型（HLA）を調べに行くなど全社をあげてその方の命を救おうと尽力されたと聞きました。

少し間が空いて 1998 年頃。私が白血病再発の治療を終え、新潟、長岡で行われていた普及啓発の展示会を上越でも実施しようと会員や知人に協力を呼びかけた事に、第2期の活動が始まりました。当時は、今のように登録会を開く事もできず、とにかく「骨髄バンクを忘れないでほしい」と思いながらの活動でした。その後、市民に身近な会場で登録受付ができるようになるなど、全国的にボランティアの活動が広がる程に骨髄バンクの実績も伸びてきました。

そして 2008 年。「特定非営利活動法人骨髄バンクサポート新潟」としてスタートをきる事になりました。

骨髄バンク事業にはより多くの患者の救命と、ドナーの負担の軽減を求めていきますが、それは制度整備だけで解決できるものではなく、関わる人一人ひとりの理解と協力によって実を結ぶものと思っております。

骨髄バンクというシステムと、それを必要とする人、支える人々の間に立ち、皆様の心に届く様な活動をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

骨髄バンクサポート新潟活動報告

発足記念講演会　140 人参加、大盛況　　11 月 15 日(土)午後1時～4時　ワークパル上越

秋晴れに恵まれた11月15日、「発足記念講演会」が、いよいよ開催となりました。会場入り口では、巨人軍マスコット「ジャビット君」がお客様をお迎えし、写真を撮ったりサインしたり。開場前にも楽しい演出をしてくださいました。

いさはい先生は移植医療について詳しく、高野さんは息子さんの闘病を涙ながらにお話くださいました。貴島さんは、読売巨人軍と患者のふれあいをご紹介くださいました。講演の後は、お待ちかねの読売巨人軍提供の品々によるチャリティ抽選会です。東京ドームで全試合を観戦した人にしかもらえない選手カードセットなどレアグッズに会場も盛り上がりました。　上原選手愛用スパイクは、巨人の大ファンという十日町市在住の男性が落札されました。「デビュー当初から大ファン。家宝にします」と喜びを語ってくれました。

準備にご協力下さった当日ボランティアのみなさん、チケットを買って参加してくださった皆さん、本当にありがとうございました。皆さまのご協力により無事終了出来ました事、心より感謝申し上げます。(斉木)

本事業は財団法人骨髄移植推進財団の共催、玉三郎グループ「幸せのカラーチップ運動」19年度寄付、にいがた・骨髄バンクを育てる会の後援で行いました。

県立中央病院の飯酒盃訓充(いさはい　のりあつ)先生「造血幹細胞移植治療について」

第二部、加茂市在住の高野由美子さん「息子の骨髄移植治療を通して感じたこと」

第三部、読売巨人軍ファンサービス部の貴島勝司さんの「企業としての骨髄バンク支援」

連合上越平和集会で講演

8月 21 日　リージョンプラザ上越

毎年夏に開催される連合上越主催の平和集会は「愛・命・人権」がテーマ。今年は、斉木桂子(当会事務局長)が2人の息子の病気を通して子どもへの思い、骨髄バンクの必要性を話しました。ドナー経験者の松井康哲さんには登録から提供に至る流れと、「自分でしか助けられない人がいる。親が健康に生んでくれた事に感謝して、喜んで命のバトンを渡しました」と提供時の思いを話しました。

冒頭で、小山政彦議長は自身も登録していた事を話し、「提供時のドナー休暇の導入を会社に働きかけてほしい」と訴え、骨髄バンクに対する理解の深さを示されました。(松井)

全国協議会ブロックセミナー参加

11 月 29 日箱根

全国骨髄バンク推進連絡協議会の関東ブロックセミナーに出席しました。今年のテーマである「患者支援について」の中では、佐藤きち子基金(骨髄移植治療を受ける患者さんへの経済的援助を行う基金)への申請が多く、患者さんへの経済的負担が、依然として大きい事が浮き彫りになりました。

また、全国骨髄バンク推進連絡協議会が行っている「白血病フリーダイヤル」には、開設以来 12 年で 8002 件の相談があり、年々相談者(患者やそのご家族)が高齢化しているとの報告もありました。

こうした状況の中で、県内在住の患者やその家族が情報を得、相談をする事で精神的な支えとなり、前向きな気持ちで治療ができるよう側面からのサポートが大切だと感じました。何より私達の存在を知ってもらえるよう県内各地での普及啓発も必要であると思いました。(斉木)

初ドナー登録会に 45 名　　11 月 1 日　上教大越秋祭

大学祭での登録会では、45 人もの方がドナー登録をして下さり、本当にありがとうございました。個人的には大成功だったと感じていますが、今回の登録会は多くの皆様のご協力がなければ絶対に実現しないものでした。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

大学祭は登録会の翌日も行なわれましたが、ドナー登録希望者は翌日も後を絶ちませんでした。「今日はやっていないのですか！？」「前からしたいと思ってたのに残念です‥」という声も聞かれ、両日ともやりたかったなというのが本音です。また、登録会を通じて、学生の骨髄バンクに対する様々な考え方も知ることができました。実際に登録をしてくれた友達からは「知ることができて良かった」「力になれて嬉しい」という感想もあり、それらの声を聞くと本当に嬉しく、やってよかったと心から感じています。

しかし、振り返ると、反省すべき点も多くあります。初の試みということで混乱し、直前にバタバタしてしまい主体的に動けなかったこと、当日スタッフの行動が制限されてしまったこと等…、ご迷惑をおかけした事もあったように思います。今回のこの貴重な体験を心に刻み、これからの活動に生かせるよう、より一層ボランティアの一員として頑張っていきたいと思います。

(上越教育大学　小林　純)

ご寄付に感謝いたします！

上越総合技術高校生徒会様

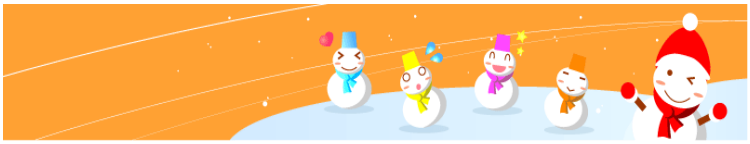
平成 20 年 11 月 2、3 日の二日間に渡って行われた上越総合技術高校の文化祭のうち3日は、三年に一回しか行わない一般公開日でもありました。その来場者へ向けて、生徒会の皆さんが何か社会の役に立てる事をと、「フランクフルトを販売してその収益を骨髄バンクに寄付する」と計画し、文化祭の前に生徒さんの意向が当団体に届きました。

骨髄バンクに関係する寄付先には骨髄バンク推進財団、患者基金など複数あり、その使途も違って来ることを直接生徒さんにお伝えしていましたが、この度、生徒会の総意として「地元で活動をしている骨髄バンクサポート新潟の、今後の活動に是非役立ててほしい」との嬉しいご連絡をもらい、12 月 8 日(月)上越総合技術高校の校長室で、寄付を受け取りました。

当日は、こうした生徒さんの自発的な活動を取材に来られた多くの報道関係者の前で、やや緊張気味の生徒会長さんでしたが「少しでも病気の人の役に立てればうれしいです」と話していました。私達はこのような生徒皆さんの気持ちが寄付金という形になって託された意味をしっかり受け止め、これからの活動に反映させたいと改めて思いました。上越総合技術高校のみなさん、ありがとうございました。

(財)上越勤労者福祉サービスセンター様

私達は H20 年 11 月 15 日、ワークパル上越にて NPO 法人発足記念の医療講演会を行いましたが、翌日ワークパル上越の方よりご連絡を頂いたのが、寄付のきっかけとなりました。ワークパル上越は、(財)上越勤労者福祉サービスセンターが運営する施設の一つで、1 月 7 日には福祉祭りのイベントが行われ、その中の一つとして J-MAX シアターの一室を貸切り、『WALL・E(ウォーリー)』のチャリティー上映会が実施されました。この時の一人 100 円以上の参加費が私達への寄付となったのでした。当日は、子ども達が自分のお財布からお金を出して募金してくれた姿が印象的だった…とお聞きしています。こうして集められた寄付が、1 月 8 日(財)上越勤労者福祉サービスセンター事務局長の梅川様より手渡されました。素晴らしい企画に敬服しています。本当にありがとうございました。(斉木)



平安セレモニーグループ様

平成 20 年 12 月 25 日、平安セレモニーグループ様より、ご寄付を頂きました。
贈呈者であるデュオ・セレッソ支配人の新保様より『平安セレモニーグループ 40 周年を記念して行ったステーキ祭りでの売り上げと、会社からの気持ちを合わせて、このような寄付になりました。皆さんが明るく一生懸命になって、骨髄バンクのボランティアに取り組んでいることもよく伝わりました。これからも、頑張って下さい。』との温かい言葉も頂きました。

こうした地域の皆さまからのご理解ご協力が、私たちにとっても大きな支えと励みになります。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

頂いたご寄付は、来年度の活動資金として大切に使わせて頂きます。

玉三郎グループ((株)ｴﾑ･ｱｲ･ﾃﾞｨｼﾞｬﾊﾟﾝ)様

スーパースロットスタジアムタマサブロウ店頭で実施されている「幸せのカラーチップ運動」により、寄付を頂きました。

設立直後ということで、ユニフォーム(ショッキングピンクの T シャツ。目立ちます)を作成させていただきました。登録会、講演会のイベント時、取材時(上記でも着用)など常に大活躍です。

同運動は、換金できない端玉をチップに変えて、支援したい団体を選んで投函。チップ相当額が団体に寄付される仕組みです。「骨髄バンクサポート新潟」に投函してくださいね！

ジャスコ上越店様

ジャスコ上越店「イエローレシートキャンペーン」で、プリンターとインク、収納棚を頂きました。

毎月 11 日イオンデーに発行される黄色いレシートをキャンペーン用の団体専用ボックスに投函していただくと、総額の1%相当の希望商品でご寄付下さいます。ボックス名は今年度中は「骨髄バンクを育てる会上越支部」、21 年4月より「骨髄バンクサポート新潟」に変更になります。

多くの方のご寄付や、ご入会をいただきました

＜寄付者団体・氏名、 順不同＞

イオン ジャスコ上越店様	上越リトルシニア様
せーばなる代表 神田照男様	庭野 光雄様
平安セレモニーグループ様	関根 明様
上越総合技術高校生徒会様	斉木 翔太
財団法人上越勤労者福祉サービスセンター ワークパル上越様	斉木 桂子
(株)エム・アイ・ディジャパン様	松井 友子

＜団体賛助会員、順不同＞

医療法人社団 石田医院様	(株)平林塗装様
船津商会(株)様	折笠歯科医院様

入 会 のご案 内

＜年会費＞ 一口からお願い致します（上限はありません）

正会員	賛助会員
個人一口 2,000 円 団体一口 10,000 円	個人一口 2,000 円 団体一口 10,000 円
・ボランティア活動を一緒にしてくださる方 ・総会での議決権あり	・資金援助をしてくださる方 ・総会での議決権なし

振込先口座名 NPO 法人骨髄バンクサポート新潟
郵便振替口座番号 00500－5－97142

＜個人賛助会員、順不同＞

小林 澄江様	川村 留美子様	北 康子様
渡部 賢一様	山田 英雄様	折笠 智子様
宮本 豊様	篠原 レイ子様	伊東 フミ子様
坂上 秀人様	福島 美奈子様	若井 博幸様
茂野 真知様	渡辺 武様	木南 孝博様
石川 美恵子様	角澤 夏子様	樋口 美穂様
秋山 三枝子様	石田 愛理様	川崎 和子様
小池 和子様	磯部 美恵子様	山田 謙一様
笠原 朝美様	小椋 明美様	萩原 良子様
大島 誠様	横尾 久美子様	高原 宏美様
池上 初子様	山本 佐江子様	中澤 瑞城様
須藤 さなえ様	渡辺 恭子様	藤永 質様
小山 祐樹様	井澤 敏子様	金子 豊様
太田 冷子様	田中 登志夫様	渡辺 のぶ子様
笠原 真理様	高橋 テル子様	小堺 なみ江様
高舘 紀子様	佐藤 妙子様	本間 静枝様
小川 みち子様	田村 サカエ様	田中 昌義様
阿部 孝子様	永田 康樹様	外ノ池 節子様
久保田 勝様	高原 亮子様	山崎 明彦様
池畑 憲成様	滝本 正様	梅川 清雄様
馬場 武男様	杉山 典子様	折橋 改治様

※平成 21 年 1 月 15 日入金処理分までを掲載させていただきました

骨髄バンク NEWS

～全国の話題を紹介します～

■骨髄移植１万例（骨髄バンク）
臍帯血移植５千例（さい帯血バンク）
～ドナーさん、ありがとう！～

骨髄バンクを通じた非血縁者間の骨髄移植が1万例（12 月 3 日）に、さい帯血バンクを通じた臍帯血移植も5千例（12 月 2 日）に達しました。

骨髄バンクは 1993 年に1例目を行い 16 年目。1 万 5000 人の患者さんに骨髄＝命が届けられたことなります。ドナーさんとそのご家族、職場の方、医療関係者等、ご尽力頂いた皆様に感謝申し上げます。

☆記念講演会が開催されます。
「第 31 回日本造血細胞移植学会」総会にて
日時：平成 21 年 2 月 6 日（金）
場所：札幌市教育文化会館

■日本骨髄バンクの現状

財団法人骨髄移植推進財団「MONTHLY REPORT」より
（平成 20 年 12 月末現在）

	12 月（登録／減少）	現在数	累計
ドナー登録者数 （上:全国／下:新潟）	3,565 ／ 1,173 43 ／ 34	329,247 9,423	417,071 -
患者登録者数 （上:全国／下:新潟）	187 -	2,389 33	26,588 371
骨髄移植例数	78	-	10,069

☆ 上越でも「ありがとうキャンペーン」

全国各地の骨髄バンクボランティアは、移植例数 15,000 例を記念し、それを支えてくださった皆様に感謝申し上げ、全国一斉「ありがとうキャンペーン」を 2 月 11 日に開催します。上越では、登録会会場であるジャスコ上越店アコーレにて。

編集後記

NPO 法人を立ち上げたことで、正会員一人ひとりが活動の企画、運営、資金調達に力を注ぐ時が来た。100年に1度の大不況風が吹き荒れる中で、資金面での協力をお願いするとき、親族、友人、知人、法人の方々の経済的困難は想像を遥かに超えるものがある。そんな中で法人各位、そして多くの方がたの、ご寄付、賛助会員としてのご入会をいただいていることを、心よりお礼申し上げます。多くの方にお会いして、お話しする機会をいただけたことを、このボランティアを通じて一生の財産にしていきたいと思います。すばらしいボランティア仲間とともに骨髄バンクサポート新潟を真摯に育てていきたいと思います。今後とも継続的なご支援をお願いいたします。
（広報担当 滝本、渡辺、松井）